学校番号	２１４

令和８年度　情報科

教科	情報科	科目	情報処理演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業はLAN教室でPCを使いながら実施します。文書作成ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトを持いて、情報処理能力の向上を目指した実践的な取り組みを中心に行います。自ら主体的に参加し、コンピュータ操作の実践を通して多くの技術を身につけ、創造力や論理的思考力の向上を目指しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
文書作成ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどの活用方法を理解し、情報の統合や処理を効果的にできる。
【思考力、判断力、表現力等】
課題に応じて適切なソフトウェアの選択や活用ができ、効果的に課題解決ができる。
【学びに向かう力、人間性等】
コンピュータを持ちいた様々な課題解決について、主体的に学ぼうとする姿勢があり、実践できている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・文書作成ソフト活用方法の理解 ・表計算ソフト活用方法の理解 ・プレゼンテーションソフト活用方法の理解 ・問題解決の手順の理解	・課題に応じて適切なソフトウェアを選択する力 ・課題に応じて適切なソフトウェアを活用する力 ・効果的に課題解決する力	・コンピュータを用いた様々な課題解決について、主体的に学ぼうとする態度 ・自ら主体的に発表に参加しようとする態度。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	文書作成	・文書作成ソフトウェアの活用方法 ・文書制作	a: 文書作成ソフト活用方法を理解できている。 b:適切なソフトウェアを選択できている。適切なソフトウェアを活用できている。 C:振り返り課題に積極的に取り組めている。	小テスト	実習成果物	振り返り課題
	表計算	・表計算ソフトの活用方法 ・関数の活用 ・データの可視化	a: 表計算作成ソフト活用方法を理解できている。関数とその使い方を理解できている。 b:適切なソフトウェアを選択できている。適切なソフトウェアを活用できている。 C:振り返り課題に積極的に取り組めている。	小テスト	実習成果物	振り返り課題
2学期	プログラミング	・アルゴリズムの可視化 ・プログラミング ・アルゴリズムの評価	a: 表計算ソフトのマクロ機能活用方法を理解できている。フローチャートの表現方法を理解できている。 b:適切なソフトウェアを選択できている。適切なソフトウェアを活用できている。 C:振り返り課題に積極的に取り組めている。	小テスト	実習成果物	振り返り課題
	プレゼンテーション	・情報デザイン ・プレゼンテーション	a: プレゼンテーションソフト活用方法を理解できている。情報デザインを理解できている。 b:適切なソフトウェアを選択できている。適切なソフトウェアを活用できている。 C:振り返り課題に積極的に取り組めている。自ら主体的に発表に参加できている。	小テスト	実習成果物、発表	振り返り課題、発表
3学期	問題解決	・問題の発見 ・解決策の考案 ・解決策の決定 ・解決策の実施 ・問題解決の評価	a: 問題解決の手順を理解できている。 b:適切なソフトウェアを選択できている。適切なソフトウェアを活用できている。 C:振り返り課題に積極的に取り組めている。自ら主体的に発表に参加できている。	小テスト	実習成果物、発表	振り返り課題、発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度